

「里山の維持再生ゾーン」の実現に向けて

～市民協働による持続可能なまちづくりのモデルケースとして～

木津北地区で自然観察会を開催しました。

10月24日、市民の方を対象にした「木津北地区自然観察会」を開催しました。

今回は、第1回目ということで、広報誌への掲載、また学校等にチラシを配布し、募集したところ、22人の方に参加していただきました。

当日は、天候にも恵まれ、講師に大阪植物観察会の栗本先生、市川先生をお迎えし、北地区の散策コースをゆっくり歩きながら、コース沿いの草花について、

わかりやすく解説していただきました。

昼食後は、『鹿背山の柿を育てるネットワーク』さんの柿畑で、柿の収穫を体験しました。

今回、参加していただいた皆さんからは、大変好評をいただきましたので、今後も季節を変えて、北地区の身近な自然に触れ、楽しみながら学ぶ機会を設けていく予定ですので、ご期待ください。



積水化学グループのCSR活動が実施されました。

11月10日、積水化学グループのCSR活動が実施されました。

当日は、セキスイハイム近畿株式会社の京滋支店、奈良支店、遠くは神戸支店から総勢約50人の社員の方が参加され、本地区で里山保全活動をされている「鹿背山倶楽部」と「NPO法人京都発・竹・流域環境ネット」の指導のもと、クヌギの植樹や竹林の整備、また、今回は、大雨で決壊した水路補修に伴い、土のう作りの作業を体験していただきました。

普段慣れない作業ということもあり、悪戦苦闘されていましたが、皆さん心地よい汗をかいておられました。

なお、参加された奈良支店の方から次のようなコ

メントをいただいています。

「以前にも参加しましたが、今回の活動も大変楽しみにしていました。心配していた前日の雨も上がり、竹を切ったり、土のうを作ったり、木々に囲まれ、澄んだ空気の中で気持ちよく里山整備を体験することができました。日々の疲れもリフレッシュすることができ、今後も引き続きこの作業に参加したいと思います。」

この積水化学グループの木津北地区においてのCSR活動は、「セキスイハイムの森・木津川」として取り組まれており、平成29年度まで年数回継続して実施されると共に国土緑化推進機構を通じて資金提供もいただいています。

